

名滝発見！名塩和紙と自然満喫の旅



教行寺

名塩御坊とも呼ばれ、名塩の家並みを見おろす高台に建っています。室町時代に蓮如上人によって創建され、寺には多くの貴重な資料が残っています。檜か天守のように見える建物は太鼓楼といわれ、昔は太鼓で時間を知らせたそうです。

名塩和紙学習館



名塩紙ができるまでの各工程ごとの原料の状態や種類、特別な道具などを見ることができます。名塩の歴史パネルや、各地の和紙や、名塩紙がよく用いられた藩札などが展示され、名塩紙とそれを作り続けてきた名塩の歴史を学ぶことができます。

TEL:0797-61-0880

谷徳製紙所

名塩紙は、江戸時代からこの地に伝わる伝統的な和紙で、「名塩雁皮紙」は重要無形文化財に指定され、谷野武信さんはその技術を保持する人として重要無形文化財保持者に認定されました。また、「名塩紙技術」として兵庫県の無形文化財に指定されています。

TEL:0797-61-0224

絇方ハ重の像

10分

10分



人間国宝
谷野武信さん

名塩八幡神社

秋祭りでは、だんじり巡行
を見ることが出来ます。



森の出口

テニスコート

坂道！
急な勾配注意！

名塩下滝

少し急なこう配の山道を抜けると、滝の音が聞こえてきます。道の上から見下ろすと、水量も豊かな滝が流れています。周りには昔あった住居跡らしきものも残っています。

15分

15分

15分

15分

15分

15分

15分

JR 西宮名塩駅

スタート

ゴール

斜行エレベーター

高低差60mの斜行エレベーター。西宮名塩駅とニュータウンを結ぶ。ニュータウンの場所はもともと棚田であった。建築家の遠藤剛生氏が設計を手がけ1994年(平成6年)、建設省都市景観100選大賞。

